



兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2019 **2**



1月5日(土)、兵庫県民会館（神戸市中央区）において、「第14回 新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催しました。会員生協・団体の役員と職員53人が参加したセミナーでは、協同組合間連携を通し、持続可能な社会の実現について学びました。また、賀詞交換会では、行政と会員生協のみなさまが交流を深めながら、新年への決意を新たにしました。（関連記事P.3）



ろっこう医療生活協同組合
専務理事

森本 浩
(もりもと・ひろし)

語り継いでいきたい 災害の経験や教訓

先日、職場近くの王子公園周辺を、ヘリコプターがホバリングしたため、気になって窓際まで様子を見に行きました。すると、ある職員が、「ヘリコプターが、そんなに珍しいですか」と。そこで私は、「阪神・淡路大震災のとき、王子公園が臨時のヘリポートになって、連日、ヘリコプターが飛び交った記憶が残っていて、ヘリコプターには敏感になってしまった」と話すと、「えっ、そんなことがあったんですか」とびっくりした様子。「ああ、当時のことを知る職員は少ないんだ」と改めて実感しました。

見ず知らずの人が声かけあってバケツリレーをして消火作業をしたこと、学校の校舎や体育館の床で赤の他人が身を寄せ合って余震に怯えていたこと、校庭に長蛇の列を作って並んで初めて口にしたバナナのこと、信号が壊れていて警官もいないのに譲り合って事故無く人も車も往來できたこと、みんな困っているのに医療生協の診療所に患者さんや組合員さんが食べ物や衣類を届けてくださったことなど。震災直後は、「人」という字は人と人が支え合っていてきている」と実感したものです。

あれから24年。ろっこう医療生協の職員は220人を超えましたが、震災

当時から勤務している職員は、わずか10数人となっています。当時の経験や教訓を語り継いでいかなければならないと感じています。まずは、新規採用職員や中堅職員を対象とした研修会で、研修の一環として、始めて行きたいと考えています。

そして、忘れてはならないのは、東日本大震災、東京電力福島第一原発事故のことです。あれから間もなく8年。いまも5万4千人を超える方々が、自宅に帰ることができず、全国各地で避難を続けておられます。とりわけ、原発周辺市町村から避難されている方々は、まだまだ避難を余儀なくされ続けられます。福島第一原発の廃炉に不可欠な燃料デブリ（溶融燃料）の取り出し開始は2021年内が目標。そして、帰還困難区域の避難指示解除の目標は2023年春です。

阪神・淡路大震災、中越地震、御嶽山噴火、熊本地震、大阪北部地震、西日本豪雨、北海道胆振東部地震など、災害の時代に得た経験や教訓を、次の世代に語り継いでいきたい。いまでも自宅に戻ることができない方々の気持ちに寄り添い、できる支援を続けていきたい。

「協同組合の精神を一口にいえば助け合い組織である。」（賀川豊彦）

CONTENTS

- | | |
|---|--|
| 2. 想点 | 6. 協同組合のかけ橋 |
| 3. 新春トップセミナー・賀詞交換会報告 | 7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓 |
| 4. 単協通信 近畿労働金庫／
生活クラブ生活協同組合都市生活／
姫路医療生活協同組合 | 8. 「ひょうご消費者セミナー2018」のご案内／
県連行事予定／編集後記 |

第14回

「新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催

1月5日(土)、兵庫県民会館において、第14回目の開催となる「新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催しました。兵庫県から5人の方々をお迎えし、会員生協・団体の役員と職員、兵庫県農業協同組合中央会、共栄火災海上保険株式会社をはじめ、53人の方々をご参加され、新年の決意を新たにしました。

新春トップセミナーでは、木田克也会長理事の開会挨拶に続き、兵庫県副知事金澤和夫様からご挨拶をいただきました。その後、日本協同組合学会会長田中夏子氏をお招きし、「協同組合間連携を通し、持続可能な社会の実現へ」をテーマにセミナーを開催しました。田中氏は講演で、貧困や食の動向等、現代の特徴から協同組合がこれから大事にすべき3つの視点にふれ、「SDGsに取り組みことで、協同組合の可能性をより押し広げることができる。生活協同組合をはじめとする協同組合がその理念の親和性から、自らの事業活動を、『SDGsの取り組みを実践している』と、我田引水に陥ることなく、それぞれの強みを生かし、最も脆弱なところから着手し、連携することが必要。」と話されました。出席者からは、「これまでのセミナーで最も良かった」「盛り沢山な内容だったのが解りやすく、これから為すべきことが分かった気がする」「もつと時間をかけて学びたい」といった声があり、新しい年の始まりにふさわしいセミナーとなりました。

その後、開催された賀詞交換会には、兵庫県の消費者行政のご担当の方々にもご参加いただきました。木田克也会長理事の挨拶に続き、ご来賓を代表して兵庫県女性生活部長 松森章子様のご挨拶と乾杯のご発声で和やかに会が



講師 田中 夏子



金澤 和夫兵庫県副知事



木田 克也会長理事



講師 田中 夏子氏



賀詞交換風景

スタート。日頃から御指導いただいている行政の皆様と会員生協・団体の皆様、それぞれに交流を深めました。

近畿労働金庫兵庫地区本部

社会に笑顔を増やす定期預金「笑顔プラス」 寄付先団体と連携した社会貢献プロジェクトが好評です

近畿ろうきんの社会貢献預金（笑顔プラス）は、お客さまの預金を通して、近畿2府4県で子ども支援、被災地支援・防災、国際協力、障がい者生活支援、女性・マイノリティ支援、環境保全などを行っている各分野のNPO団体などの活動を応援するものです。店頭表示金利より金利を引き下げてお預かりし、引き下げた利息相当分と当金庫の拠出金を合わせて、年に一度、当金庫から寄付を行う仕組みです。「預金で社会貢献ができる」と多くのご参加（預入れ）をいただいています。（12月末残高48億6千万円）

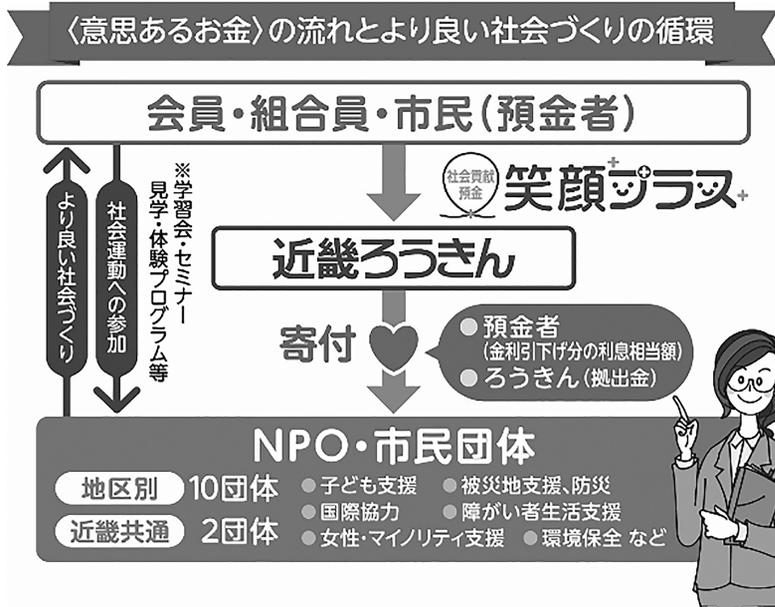
さらに、寄付先団体の学習会・セミナー・体験プログラム等（笑顔プラスプロジェクト）に参加いただけるのが、「笑顔プラス」の大きな特徴です。その団体の活動に学び、共鳴して、応援の寄付を届けることができるのです。

近畿ろうきんは、支え合う経済（連帯経済）を推進し、多様な活動を応援することを通して、共生の社会

づくりをめざしています。《意思あるお金》の流れをつくる社会運動をこれからも推し進めていきます。

（通信員 井奥真貴子）

【「笑顔プラス」のしくみ】



寄付先団体の活動報告会のひとこま

● 「笑顔プラス」寄付先団体一覧 (2019年1月31日現在) ●

区分	団体名称	活動概要
滋賀地区	国際湖沼環境委員会	国際協力・環境保全
奈良地区	奈良NPOセンター	地域づくり・防災
京都地区	山科醍醐こどものひろば	子ども支援・貧困対策
	京都丹波・丹後ネットワーク	地域づくり・防災
大阪地区	こどものホスピスプロジェクト	日本初の地域型子どもホスピス
	いくの学園	女性・マイノリティ支援
	日常生活支援ネットワーク	障がい者生活支援
和歌山地区	わかやまNPOセンター	地域づくり・防災
兵庫地区	あしなが育英会	災害・病気等の遺児支援
	CODE 海外災害援助市民センター	国際協力・被災地支援
近畿共通団体	日本災害救援ボランティアネットワーク	災害救援・防災
	関西NGO協議会	国際協力

生活クラブ生活協同組合都市生活

食育活動を通して伝えたいこと ～家族の健康と持続可能な生産を支える食へ方～

当生協では2013年度に食育プロジェクトを立ち上げ、食育活動に力を入れて取り組んできました。主な活動スタイルは、遺伝子組み換え作物や食品添加物など市場の問題点、日本の食糧事情と生産現場の実情について学ぶ時間に加えて、料理の実演や実習を組み合わせた構成です。米離れ・和食離れが進んでいること、日本の食料自給率が減少していることへの危機感を共有した上で、実際の調理を通して内食（家庭で調理すること）の素晴らしさと大切さを体感してもらおうというアイデアです。テーマによっては生産者を招いて、生産工程や苦労話をお聞きしたりすることもあります。さらに百聞は一見にしかずで、生産地訪問や神戸の輸入倉庫の見学なども行います。また大人だけでなく、キッズクッキングや夏休み食育スクールと称して、子どもたちの料理教室も開催しています。さて今年度のご報告です。醤油・味噌・食酢・みりんなどの発酵調味料を重点的に取り上げ

たところ参加者が多く、その意外な反響に、日本の伝統的な食文化に対する関心の高さを感じることが出来て大きな励みになりました。和食の特徴は、うま味を上手に使うことにあります。そこで、うま味を形成する発酵調味料、ならびに発酵食品と健康とのつながり、そして国内の持続可能な生産を支える消費のありかたを、ひとりでも多くの方と学ぶ機会をもちたいと考え、講演会を企画しました。この紙面をお借りしてご案内いたしますので、奮ってご参加下さい。

(通信員 小松高志)

第4回 食の講演会
生活クラブ
免疫を高める方法
2/27
会場：兵庫県私学協会 302.303 階
10:00～12:00 (受付: 9:30～)

姫路医療生活協同組合

笑って 歌って 福よ来い

1月12日(土)、姫路市立図書館 網干分館大ホールで、あぼしブロック主催の「新春のつどい」が開催されました。今回は兵庫県消費者トラブル防止事業の補助金を受けて企画され、地域の方々にも広く参加を呼びかけ、208人が参加しました。

第一部は「振り込め詐欺にご用心」と題して、落語家の笑福亭智之介さんのお話しを聞きました。

少年時代より得意とされているマジックを交えながらのお話しは本当に楽しく、会場内は感心したり、驚



新春のつどい

いたり、笑いの渦に包まれました。また騙されない為には「もしもし、オレオレ」と電話がかかってきたら、こちらから名前を呼ばない、合言葉を決める、掛け直す、等のポイントを教えて頂きました。昨今、巧妙になっている劇場型オレオレ詐欺を題材にした落語も楽しく、被害にあわない為にはまず相手の手口をよく知っておくことだと大変勉強になりました。

第二部はデイサービスを中心にボランティア演奏活動をされているジャズバンド『スウィング・フェローズ』のライブを聞かせて頂きました。ビブラフォン、ピアノ、ベースで奏でるジャズに会場はうっとり。また「上を向いて歩こう」「いい日旅立ち」など懐かし歌も聞かせて頂きました。最後はアンコールのかけ声で会場は最高に盛り上がりました。

新春早々楽しいイベントに、参加された皆さんは大変満足されていました。

(通信員 原典子)

協同組合のかけ橋

JF

JF 兵庫漁連

虹の仲間で森づくり

漁業者と消費者が共に手を携えて、豊かな海を支える森を育てていくことを目的に、コープこうべとJF兵庫漁連が共同で取り組んでいる「虹の仲間で森づくり」は今年で12回目の開催となります。

快晴に恵まれた12月1日(土)、神戸市西区にある雌岡山(神出神社周辺)に県内各地からJFグループ関係者、コープこうべの会員や行政関係者など約160名が集まりました。JF兵庫漁連 突々 淳専務の挨拶、ひょうご森の倶楽部 山下 広行会長より作業の注意事項説明の後、全員で準備運動を行いました。この後、ヘルメット姿の参加者は18班に分かれ、NPO法人「ひょうご森の倶楽部」の指導員の皆さんに誘導され、次々に森に入りました。

作業について指導員の方から説明を受けた後、参加者は周囲に気を配りながら、広葉樹や



日が差し込む森になりました

花の咲く樹を残し、常緑樹や蔓性の植物を次々に除伐し、クマザサなどの下草も刈り取りました。約2時間の作業を終えると、地面を覆っていたクマザサも無くなり、太陽の光が差し込み、見通しの利くきれいな森になりました。作業を行った皆さんは「目に見えて日が差し込むようになった」と嬉しそうに話していました。

この後の昼食は、兵庫のりを使った巻き寿司、カキの味噌汁等が振る舞われ、同じ班のメンバーと楽しい昼食の時間を過ごしました。



JA

JA 丹波ささやま

丹波篠山黒大豆の産地振興と販売力の強化

JA丹波ささやま(篠山市)は特産品である「丹波篠山黒大豆」の産地振興と販売力の強化に取り組んでいます。同JAでは農家の高齢化に伴う労働力不足への対策と担い手の確保が課題となっています。そこで、農家の労働負担を軽減するため、さや豆の選別ラインを導入し、集荷を始めました。また、収穫作業の機械化も進めており、組合員から大きな期待が寄せられています。担い手農家を対象に脱糞機導入助成を行うとともに、JA全農や篠山市と協力し、丹波篠山黒枝豆に適した仕様に改良を進め、収量増大を目指しています。

担い手を確保するため、JAではUターンやIターン、定年帰農者ら篠山で新たに農業を始める新規就農者を対象とした「U・Iクラブ丹波篠山黒豆スクール」を平成25年から開催しています。講師はTAC(地域農業の担い手に出向き、営農指導などを行うJA職員)がつとめ、6月の種まきから1月の黒豆の収穫まで毎月、座学と実習により基本的な栽培技術を指導しています。

さらに、「6次産業化」の取り組みとして、29年に冷凍枝豆を開発し、販売を始めました。旬の時期が10月上旬から約2週間と短い黒枝豆の風味を長期に渡って楽しむことができます。

JAでは、黒大豆の輸出にも力を入れており、28年から台湾でPR活動を続け、同国から視察を受け入れました。



収穫機による省力化を進めています



最近の消費生活相談事例

宅配業者をかたる偽の不在通知メールに注意

事例

スマートフォン（以下スマホ）に、実在する大手宅配業者からショートメッセージサービス（以下SMS^{*1}）で「お客様宛にお荷物のお届けにあがりましたが不在のため持ち帰りました。下記よりご確認ください。」とのメールが届いた。メッセージの中のリンク先を開き、誘導されるままに配達通知アプリをインストールしたところ、見知らぬ人から荷物の問合せの電話が殺到して困っている。

（40代・男性）^{*1} ショートメッセージサービス（SMS）：携帯電話番号を宛先にして送受信するメール

【アドバイス】

相談のあった宅配業者では、SMSによる不在通知案内をしていません。これは宅配業者を装った『偽メール』です。

メール内のリンクを開くと、宅配業者のホームページとそっくりになられた偽サイトに誘導され、コンピュータウイルスを取り込んでしまうことで、「相談者の電話番号」で同様の偽メールを大量に拡散することになります。

この偽メールを受け取った人が宅配業者からの不在通知メールだと思い込み、メールに表示されている相談者の携帯電話番号に問合せが殺到したものと考えられます。

さらに、偽サイトを開いた際、電話番号やID、パスワードなどを入力したため、ゲームアプリ代金や電子商品券などを知らぬ間に購入され、スマホの通信代金とともに請求された被害事例も発生しています。

佐川急便など、現在かたられている宅配業者は、SMSによる不在通知の案内はしていません。そのため、このようなSMSを受信しても決して開かず削除しましょう。万一、開いてしまったり偽の配達通知アプリをインストールしたりした場合は、すぐにスマホを通信できない状態（機内モード^{*2}）に切り替えた後、携帯電話会社や最寄りの消費生活相談窓口（局番なし188番）に相談してください。

大手宅配業者は1社ではなく、複数の宅配業者名をかたって同様の相談が寄せられていますので、SMSによる不在通知案内には十分注意をしましょう。

^{*2} 機内モードへの操作方法は各携帯電話会社にお問い合わせください。

（兵庫県立消費生活総合センター）

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

2月は節分ですね。私、昔から、節分の豆が好きで、毎年、よく食べています。特別おいしいと思うわけではないのですが、つつい、あと一つ、もう一つと口に入れてしまいます。

さて、今回は、ひょうご消費者ネットの活動ではないのですが、日本学生支援機構の奨学金についてのお話をしようかと思います。奨学金は、主に大学や専門学校の学費を賄うために利用されており、学校卒業後、その返還が始まります。ところが、就職した会社の給与が少なかったり、体調を崩してしまい会社を辞めたことによって、収入がなくなってしまったりと、奨学金の返還ができない状況に陥ってしまうことがあります。そんな時は、まず「返還の猶予」を申請してみることが大切です。返還猶予の期間は最長10年です。なぜ、こんな話をしているかというと、2019年で、ちょうど10年の猶予期限を迎える方がいらっしゃるからです。猶予期限が終わると、奨学金の返還を求められることになります。その際、まだ返還が困難な状況にあれば、他の解決の道を探さなければなりません。そんな時は、専門家等に相談してみて、よい方法を探してみたいと思います。

（ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記）



ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

MOVE

ひょうご消費者セミナー2018
防ごう消費者被害

消費者被害は、
こう始まる

**世の中
うまい話はない!**



日本テレビ
「行列のできる法律相談所」
「スッキリ」
関西テレビ
「みんなのニュース報道ランナー」
でお馴染み!

講師 弁護士 菊地 幸夫

プロフィール

弁護士(第二東京弁護士会)、番町法律事務所。
中央大学法学部卒業。元司法研修所刑事弁護教官。現在、社会福祉法人練馬区社会福祉事業団理事も務める。また、日本テレビ「行列のできる法律相談所」及び「スッキリ」をはじめ数本の番組にレギュラー出演。弁護士業務の傍ら体力作りにも勤しみ、各地のトライアスロン大会へも出場。地元小学校のバレーボールチームの監督等も務めている。

著書「こんなときどうする一夫婦と親子の法律相談」(共著、三協法規出版)
『こんなときどうする一土地と建物の法律相談』(共著、三協法規出版)
『守られる権利 守るべき法律』(共著、三協法規出版) 他多数

適格消費者団体

(ひょうご消費者ネット・消費者支援機構関西)の活動報告もあります

「適格消費者団体」とは、消費者を代表して消費者全体の利益を守るために、事業者に対して差止請求訴訟(裁判)を起こす権利を持つ、内閣総理大臣が認定した団体です。

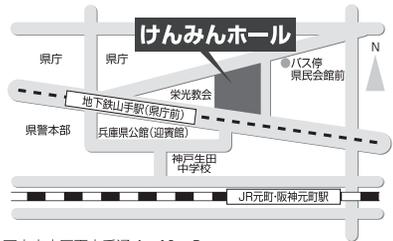
2019年 3月16日(土) 13時半~16時 兵庫県民会館9階 けんみんホール

定員 350名 申込受付期間 1月15日(火)~2月28日(木)
※ただし定員になり次第、締め切らせていただきます。

申込方法 メール、FAX、はがきでお申し込みください。

- メール: hs0316@kc-s.or.jp FAX: 078-856-1248
はがき: 〒658-8555 神戸市東灘区住吉本町1-3-19
生活協同組合コープこうべ 地域活動推進部 消費者セミナー宛て
- 入場券の発送はありません。当日、直接来場ください。
定員に達し、ご入場いただけない場合のみご連絡させていただきます。

参加費
無料



神戸市中央区下山手通4-16-3
●JR元町・阪神元町駅から徒歩7分 ●地下鉄「県庁前」東1・2出入口



問合せ 生活協同組合コープこうべ 地域活動推進部
Tel.078-856-1105

主催 ひょうご消費者セミナー2018実行委員会
(兵庫県、兵庫県生活協同組合連合会、生活協同組合コープこうべ、
特定非営利活動法人ひょうご消費者ネット、
特定非営利活動法人消費者支援機構関西)、消費者庁

後援 神戸市

※ご提供いただいた個人情報は、「ひょうご消費者セミナー2018」以外の目的で使用いたしません。

県連行事予定

- 2月4日(月) 兵協連第5回理事会 (県民会館 1201)
- 2月12日(火) 兵庫JCC 「虹の仲間づくりカレッジ」 (コープこうべ協同学校)
- 2月15日(金) 兵協連第3回ピースアクション委員会 (県民会館 301)
- 2月18日(月) 兵協連第17回「税務・経理講習会」 (県民会館 1202)
- 2月22日(金) 兵協連 共済生協部会 (県民会館 301)

編集後記

寒い日が続き、インフルエンザが流行しています。みなさん体調はいかがですか。1月13日(日)JAパスカルさんだにて、虹の仲間づくりカレッジ3班の企画実践を見てきました。3班の企画は、「海の豊かさを伝え、魚食を守り広げよう」と姫路の坊勢以外では使用されていない干しカレイ(ガンソウビラメ)の試食販売をし、「その価値、坊勢の文化を伝える」こと。実践当日開店当初は、試食を食べて頂けず苦戦しましたが、徐々に試食をしていただけの人数も増え、100P用意していた干しカレイが12時過ぎには完売しました。事前打ち合わせを含め今回の企画実践により、メンバーのコミュニケーションも非常によくなりました。2月12日(火)の実践報告が(村上)

